

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」神辺校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>支援内容によって配置を変えるなど対応している。</li> <li>スペースを広く使える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の利用者さんがより過ごしやすく配置を考える。</li> </ul>
	②	職員の配置数は適切である	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切である。</li> <li>児発の小集団時人数不足。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の人数が必要な時があるため小集団の人数の調整をする。</li> </ul>
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>季節ごとの壁面など環境の設定を行っている。</li> <li>入口は段差があり、トイレは車いすが入れない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後のこともふまえてバリアフリー対策を検討。</li> <li>どんなことをどんな風にすればいいかわかりにくいことがあるので、スケジュール表等、視覚的な指示表示を提示するなど環境を設定する。</li> </ul>
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>都度消毒をおこない清潔な環境を意識している。</li> <li>活動内容に合わせフレキシブルに使用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しく過ごせるよう、季節感、行事感などの演出を増やしていく。</li> <li>清掃や消毒なども継続してしっかりと行う。</li> </ul>
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>参画はできているが、本来の意味の周知はできていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全職員に周知し理解して参画し、個々に考えることができるよう説明し、理解を促す。</li> </ul>
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年5月開所のため、評価表はまだだが、日々保護者の意向は聞き取り、共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価表をふまえ、保護者との関係性を強固にしていく。</li> </ul>
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回より公開。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公表により、全職員の意識の改善、周知につながるようにする。</li> </ul>
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>その制度はないが必要性は感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>会社として、どのようにすすめていか検討する。</li> </ul>
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>社内外都度参加し、共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全員参加できる状態を維持し、職員の質の向上に努める。</li> </ul>
適切な支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>児発管が中心だが、職員も積極的に行っており、職員での共有を常に行っている。</li> <li>アセスメントの意味の周知と重要性の把握の周知が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アセスメントの取り方、必要性など全職員で共有していき、適切にとれる状態をつくる。</li> </ul>
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準化ツールは使用していないが、都度全職員で共有。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準化されたツールの必要性を検討する。</li> </ul>

提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々意識しガイドラインに沿った支援ができており、常に改善に努めている。</li> <li>・保護者の方に、方向性のお話をし、指導員と連携して作成している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な支援内容は、指導員との情報共有をし、保護者と一緒に作成していく必要がある。流れとして検討していく。</li> </ul>
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・意識し行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題等の情報共有を密に今後も行っていく。</li> </ul>
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員で検討し行っている。役割分担等おこないチームでのプログラムを意識し行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チームでの療育の必要性をしっかりと発信していく。</li> </ul>
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員で案をだし支援に生かしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他校舎の例なども参考にしながら取り組んでいく。</li> </ul>
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	1	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、利用曜日の関係上個別のみでの対応中心。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の課題として取り組む。</li> </ul>
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝 MT を行い周知。</li> <li>・日ごろから、支援についての話は適宜行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MT の内容をより深くしていく。</li> </ul>
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な場合は必ず行っている。遅くとも翌日には、打合せ、申し送りを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が把握できるよう支援のねらい、目的などを明確に話して振り返り、打合せや申し送りにする。</li> </ul>
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ず記載し、先を検証している。</li> <li>・その日の状態や様子を詳細に記録し支援方法の改善や、次回支援で必要な教材などを考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねらい、目的の明記、子どもの強み、得意なこと興味のあることなどを明記していく。</li> </ul>
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方、指導員との話を行い、適切な内容を維持できるよう努める。</li> </ul>
	関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状参加したことがない。</li> </ul>
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携先確保に努めている。</li> <li>・密に連携をとる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期連絡という形でしっかりと連携をとっていく。</li> </ul>
㉓		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じ連携する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後はふまえ、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育機関との連携の体制を準備しておく。</li> </ul>
㉔		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じ連携する。</li> <li>・慎重に行いたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主治医や協力医療機関との連絡体制の強化に努める。</li> </ul>

	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1	・連携の仕組みを調整中。	・連絡体制の仕組みの調整に努める。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	2	・研修や学校訪問等で、連携先に周知していただいている。	・連携体制の強化、定期的な訪問連絡できる体制をつくる。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		・積極的に研修に参加し、助言を受けている。	・専門機関との関係性の強化に努める。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		4	・現状はない。	・検討する。
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	2	・可能な限り参加している。	・積極的にさんかしていきたい。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		・毎回支援後に情報の共有はおこなっている。	・将来をふまえて、家庭や学校での情報共有を常におこなっていく。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	4		・支援後には、家庭での取り組み方等も交えてお話をしている。	・全職員が、お子様への向き合い方や、言葉がけ等の話ができるようにする。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		・契約時、説明をおこなっている。	・さらに、丁寧に説明をしていく。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		・丁寧な説明を心掛け実践している。 ・ねらいや目的といったことは、毎回保護者の方に話をする必要性を感じる。	・ねらいや目的といったことを意識した、フィードバックの内容の検討をおこない、全職員で対応できるようにしていく。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		・定期的・随時行っている。	・日ごろからの様々な関係機関との連携をとっていく。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4	・現状は開催ない	・今後の開催を検討中。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		・聞き取りの機会を意図的に設け、対応もできている。 ・即行動に移すことを心掛けている。	・随時対応しているが、もっと保護者の方が話しやすいよう、来校されやすいように工夫が必要。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		・ブログや新聞など発行し発信できている。	・継続していき、内容の精査をおこない、より理解していただけるようにする。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	4		・意識して取り組んでいる。	・継続しておこなう。
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		・状態に応じて対応できている。	・手話、筆談、タブレット等を利用して対応できるよう準備する。

	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	3	1	・地域の方からの相談を受ける機会があった。	・地域の方と関わられるようなイベント等の開催を行っていく。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	1	・マニュアルの策定はあるが、保護者の方への周知はできていない。	・掲示している訓練風景の内容の工夫をおこない、周知できるようにする。契約時等にマニュアルの内容も話していく。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		・定期的におこなっている。	・日ごろから意識していけるよう必要な声掛け等おこなう。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		・事前に聞き取り対応方法の確認共有をしている。	・さらに意識して詳細を確認していく。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	3	・現在食事提供はないが、必要に応じて対応する。	・アレルギー等の聞き取り、体調の聞き取りを強化する。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		・都度作成し共有している。	・共有内容は意識して日々の支援や行動に生かせるよう働き替えていく。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		・定期的に研修はおこなっている。	・対応や言葉など、支援中の言動は継続して行っていく。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4		・契約時にしっかりと別紙にて説明をし、了解を得ている。	・継続して、十分な説明とご理解を得られるよう努めていく。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」神辺校

保護者等数（児童数）： 4 回収数： 4 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3	1			・学習をするには十分な広さだと思う。体を動かすにはもう少し広くてもいいかと思う。	・活動に合わせて、今後も環境設定を工夫していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	4					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3			1		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4				・いつも綺麗にしています。	・今後も継続し、安全で心地よく過ごせる空間づくりを行います。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	4					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3			1	・こどもに在った支援内容を考えていると思う。	・今後も、ひとり一人に合わせて支援を提供させていただきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2			2	・他の方との交流は特にはありません。	・検討させていただきます。
保護者への説明	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4				・分かりやすく説明された。	・今後も、丁寧により分かりやすい説明を心がけていきます。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	4					

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	2		1	1		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4					
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			2	2		・他の方と関わることはありません。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	2	1		1		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3			1		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか			1	3		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	4					
非 常 時 等 の 対 応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	3	1				
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか				4		
満 足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	4				・楽しそうに通っています。	・今後もお子さまにとっての居場所であり、「通いたい」と思っただけできるよう尽力いたします。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	4				・子どもが楽しそうに通っているので嬉しく思っています。	・今後も「その子のための支援」を行い、満足いただけるよう精進いたします。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。